

教育委員会事務局学校教育課

1 学校教育関係

(1) 学校別就学児童生徒数

ア 小学校

令和3年5月1日現在

学校名	前年度		本年度		増 減		校長名
	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	
明道小学校	13	324	14	315	1	△9	細田 昌之
義方小学校	21	449	20	439	△1	△10	藤田 耕一
啓成小学校	14	276	14	268		△8	隠樹 佐与志
就将小学校	18	346	18	357		11	住田 秀二
車尾小学校	22	513	22	502		△11	永井 修
福生東小学校	24	533	25	543	1	10	藤原 敏朗
福生西小学校	12	251	14	258	2	7	大塚 恵子
福米東小学校	26	607	24	577	△2	△30	塚田 和彦
福米西小学校	26	632	27	614	1	△18	内田 弘之
加茂小学校	23	530	25	543	2	13	吉田 誠克
河崎小学校	10	199	11	204	1	5	坂井 明美
住吉小学校	24	626	27	620	3	△6	村中 祥宏
尚徳小学校	9	189	8	172	△1	△17	河上 裕
五千石小学校	8	123	8	121		△2	戸谷 譲司
彦名小学校	11	211	13	216	2	5	松嶋 和広
崎津小学校	8	139	8	140		1	小谷 良夫
大篠津小学校	8	86	9	80	1	△6	笠井 和観
和田小学校	9	90	8	94	△1	4	福田 哲周
弓ヶ浜小学校	21	477	22	501	1	24	山本 美江
成実小学校	8	153	8	152		△1	森本 繁
箕蚊屋小学校	15	275	16	285	1	10	村田 誠
伯仙小学校	17	385	19	384	2	△1	坂本 貴俊
淀江小学校	21	513	22	517	1	4	土江 紀行
合 計	368	7,927	382	7,902	14	△25	

イ 中学校

令和3年5月1日現在

学校名	前年度		本年度		増 減		校長名
	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	
東山中学校	15	381	16	372	1	△9	高多 宏樹
福生中学校	14	366	15	377	1	11	長尾 修
福生中学校いづみ分校	4	8	3	6	△1	△2	長尾 修
福米中学校	21	566	22	576	1	10	藤原 建
湊山中学校	14	310	15	344	1	34	足立 祥一
後藤ヶ丘中学校	21	531	23	530	2	△1	松尾 直樹
美保中学校	9	166	9	155		△11	安次 里絵
弓ヶ浜中学校	15	354	14	316		△38	勝本 秀人
尚徳中学校	11	260	11	244		△16	金川 朋史
加茂中学校	13	344	13	346		2	小谷 斉
淀江中学校	11	251	11	251			宇城 明
合 計	148	3,537	152	3,517	4	△20	

ウ 組合立中学校

令和3年5月1日現在

学校名	前年度		本年度		増 減		校長名
	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	
箕蚊屋中学校	18	468	18	429		△39	福田 知浩

(2) 指導関係

ア 学校計画訪問

学校の管理・運営の実態及び教育実践の状態を把握するとともに、当面する問題点や現場の意見を聴取した。

訪問校 17校

臨時訪問校 35校

イ 知能検査、性格検査の実施

(ア) 小学校2年・4年、中学校1年に知能検査実施

(イ) 小・中学校全学年に性格検査実施

(3) 研修関係

教員の派遣研修

ア 小・中学校管理職研修会（8月）

イ 小・中学校教頭研修（6、10、11月）

ウ 小・中教務主任研修会（小：6月、12月 中：7月、12月）

エ 特別支援教育研修会（5月、3月）

オ 小・中学校人権教育研修講座（9、10、11月）

(4) 障がい児の就学指導

米子市教育支援委員会を8月、9月、11月、1月に開催し、個々の障がいに応じた適正な判定と就学指導について審議した。

(5) 不登校児童生徒対策事業

不登校児童生徒の適応指導教室において、市内小・中学校の不登校および不登校傾向児童生徒を対象に学習支援、自立支援を実施した。

(6) 学校評議員制設置事業

地域住民の信頼に応え、より一層地域に開かれた学校づくりを推進していくため、保護者や地域住民等から学校評議員を委嘱し、意見を聴き学校運営に反映した。

(7) スクールソーシャルワーカー活用事業

教育委員会に専門的知識や技能を有するスクールソーシャルワーカー3名の配置、及び、専門的知見を有するスーパーバイザーを外部委託し、問題を抱えた児童生徒に対し当該児童生徒が置かれた環境への働きかけや、関係機関とのネットワーク活用などの支援活動を行った。

(8) 通級指導教室整備事業

明道公民館3階と市内小中学校に通級指導教室を設置し、支援の必要な子どもたちのニーズに応じた指導や支援を行った。

(9) 小学校少人数学級の実施

少人数学級（1・2年生は1学級30人、3年生から6年生は1学級35人）の実施に伴い、3年生から6年生について加配教員（14校24人）に要する人件費の一部として4,800万円を鳥取県に寄付した。（1学級当たり200万円）

(10) 中学校少人数学級の実施

少人数学級（1年生は1学級33人、2・3年生は1学級35人）の実施に伴い、2・3年生の加配教員（7校14人）に要する人件費の一部として2,800万円を鳥取県に寄付した。（加配教員1人当たり200万円）

(11) 英語指導助手配置事業(民間委託事業)

6名の英語指導助手が市内小学校・中学校の巡回英語指導を実施した。

(12) 児童生徒定期健康診断

ア 結核健康診断

結核健康診断問診票により、要精密検査となった者又は学校医その他の担当の医師において必要と認める者に対して、胸部エックス線直接撮影等の精密検査を実施した。

区 分	精密検査		有所見者	異常なし
	対象者数	受検者数		
小学校	3	2	0	2
中学校	2	0	0	0
合 計	5	2	0	2

イ 心電図検査

小学校第1・4学年および中学校第1学年全員を対象に実施した。

区 分		対象者数	受検者数	要精検者数
小学校	第1学年	1,272	1,271	24
	第4学年	1,326	1,326	26
中学校		1,278	1,272	26
合 計		3,876	3,869	76

ウ 尿検査

全児童、生徒を対象とし、試験紙法によって蛋白・糖・潜血の三法で実施した。

区 分	対象者数	受検者数	陽性者数		
			蛋白	糖	潜血
小学校	7,904	7,886	29	1	53
中学校	3,945	3,869	50	4	83
合 計	11,849	11,755	79	5	136

(13) 教職員定期健康診断

ア 定期健康診断

教職員を対象に定期健康診断を実施した。

区 分	受検者数
小学校	427
中学校	267
合 計	694

イ 結核健康診断

教職員を対象に胸部エックス線検査を実施した。

区 分	受検者数	被発見者数
小学校	418	0
中学校	262	0
合 計	680	0

ウ 胃の検査

40歳以上の教職員を対象に胃部エックス線透視撮影を実施した。

区 分	受検者数
小学校	130
中学校	107
合 計	237